

# 見てもらいやすいSMSにする4つのポイント

## 1. 本文の1行目は会社名やサービス名に

「どこの誰から、何の連絡なのか」を重要視される傾向にあります。そのため、本文の1行目には会社名もしくは自社で提供しているサービス名を入れることにより誰からきているのかが瞬時に分かるため、見てもらえる確率が上がります。

## 2. お客様情報を入れる

偽のSMSや詐欺のSMSは、通常、多くの個人情報に対してランダムに送信されます。そのため、「△△のお知らせ」というよりも、「〇〇様へのお知らせ」というように特定の属性情報を含めることで、安心して読んでくれる可能性が高くなります。

## 3. 配信時間を変える

当たり前ですが、SMSはスマートフォン（携帯電話）で受け取るため、最もスマートフォンを使っている通勤時や退勤時、お昼休憩時など、プライベートな時間帯での送付が効果的です。

## 4. ホームページや会員専用ページに告知

公式ウェブサイトや企業のページ、会員専用ページなどでSMSの内容を事前に告知することで、受け取る人が安心感を持つことができます。告知の内容には、発信元電話番号や送付対象者、SMSの内容など可能な限り多くの情報を記載するとより効果的です。